

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 秩父別町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数: 小学校1校・児童数85名(うち、調査対象学年18名)、中学校1校・生徒数49名(うち、調査対象学年8名)

○ 実技に関する調査の状況

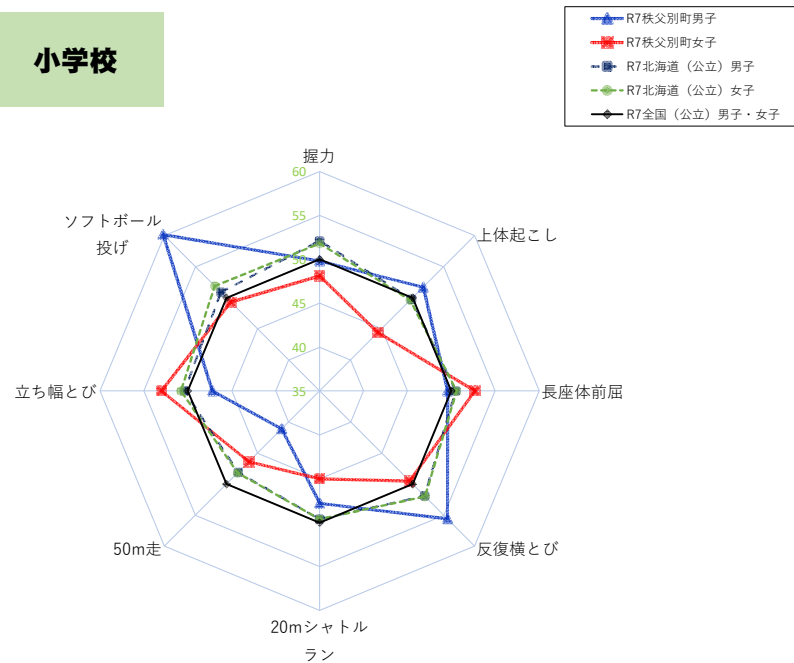
・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7秩父別町男子	15.88	20.50	33.50	45.63	43.25	10.44	144.00	29.57	49.83
R7秩父別町女子	14.89	15.22	40.67	38.33	28.89	10.13	149.67	12.78	51.88
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.02	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

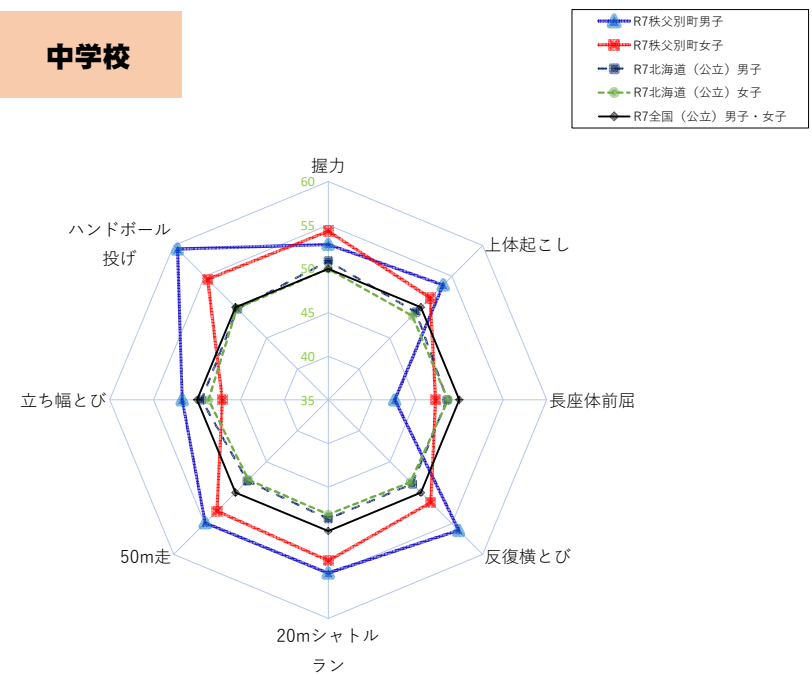
中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7秩父別町男子	31.00	28.33	36.67	57.33	91.00	7.53	203.00	26.67	46.67
R7秩父別町女子	25.20	22.50	44.00	47.00	57.20	8.70	158.20	14.40	49.60
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

小学校



中学校

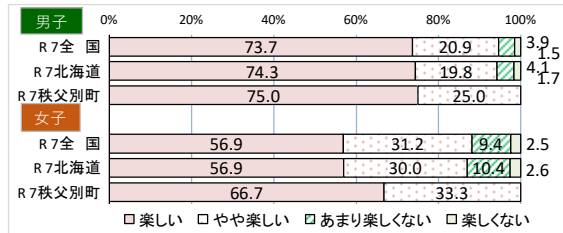


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

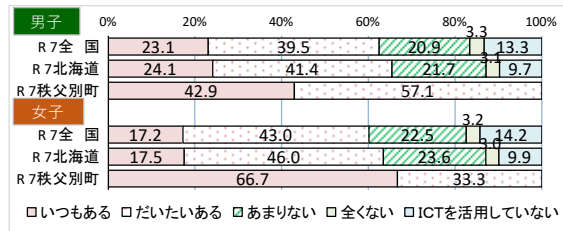
【児童質問調査】

・体育の授業は楽しいですか



【児童質問調査】

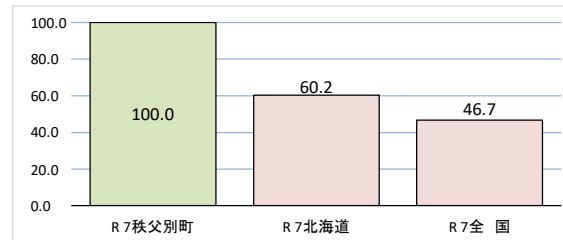
・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【学校質問調査】

小学校

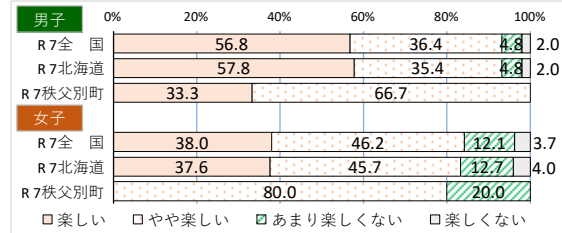
・体育授業において週に1回以上ICTを活用している。



中学校

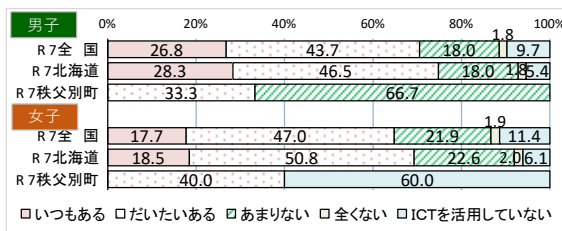
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



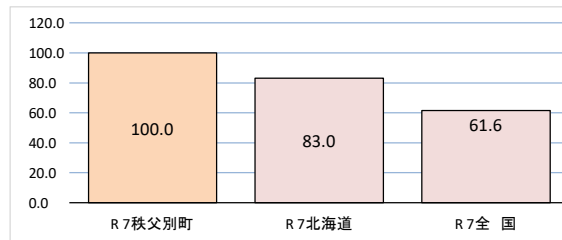
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



中学校

・保健体育授業において週に1回以上ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業において継続的にICTを活用し、ICTを活用しながら運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・上記成果を含め、体育科や運動に対する肯定的な傾向がある。
一方、体力合計点は男女ともに全国・全道平均を上回る種目も下回る種目もあったが、合計点数としては下回る結果である。

中学校

【成果】

・ICTを活用している頻度は全国・全道平均いずれも上回っているが、ICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがないか否定的に回答している生徒の割合が全国及び全道を下回った。

【課題】

・体力合計点としては男女ともに全国・全道平均いずれも上回った。
一方、ICTの活用頻度に対し、生徒の目標では効果が得られていないと感じている傾向にあると分析される。

■ 秩父別町の体力向上に向けた改善方策

・小学校においては、体育や運動そのものに肯定的な傾向があることを活かし、全国・全道平均を下回る種目の底上げを図る
・中学校においては、母体数の少ない中での上記成果・課題であることを念頭に置き、実際に全校的に当てはまるものなのかを分析する必要がある。